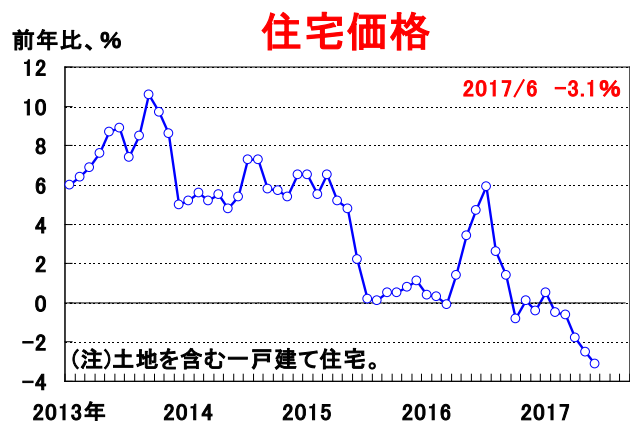
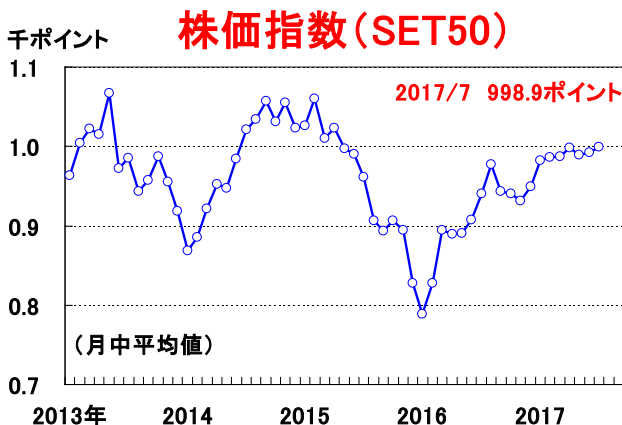
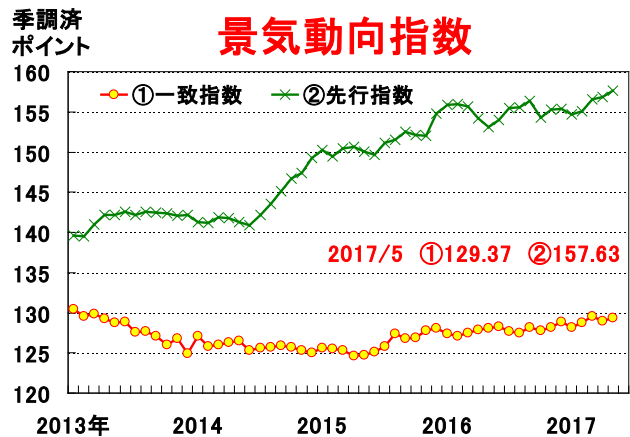
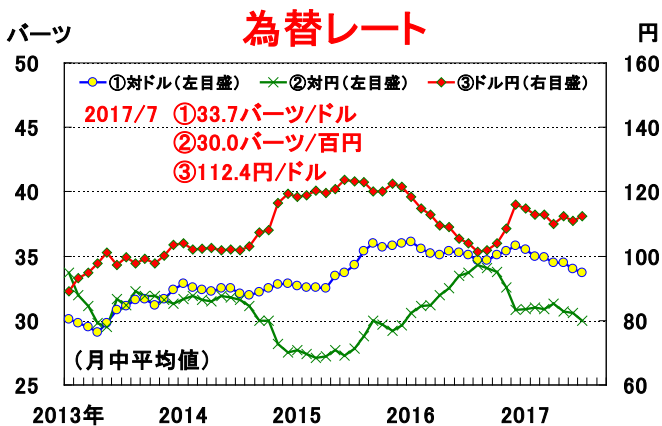
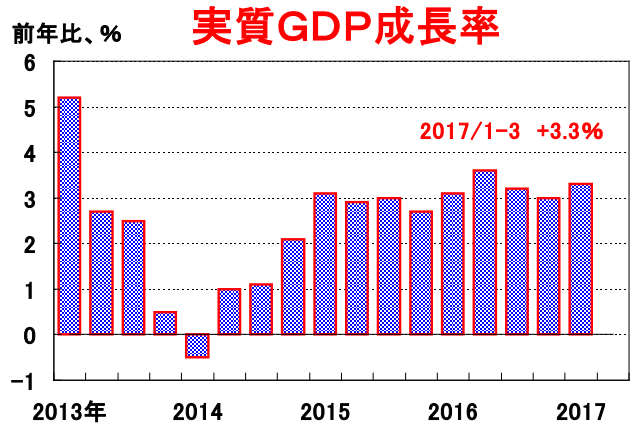
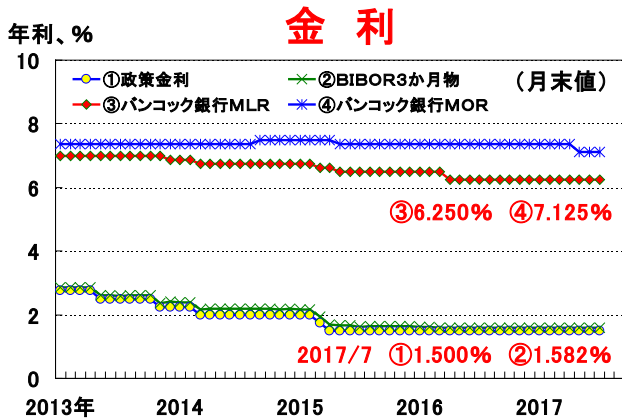


グラフで見るタイ経済 2017年8月号(No. 98)

タイ景気は緩やかな回復基調にある。6月の経済指標をみると、個人消費指数は前月比+0.2%と、外国人観光客の消費拡大などにより、2か月続けて上昇している。次に企業部門では、工業生産指数が前月比-0.8%と下落したものの、輸出は前年比+11.7%と2か月連続で2桁増となった。輸出を主要仕向け地別にみると、米国向け(5月:前年比+8.7%→6月:同+8.3%)がやや減速したものの、中国向け(5月:同+28.3%→6月:同+29.9%)と日本向け(5月:同+26.4%→6月:同+26.5%)はともに大幅な増加が続いている。



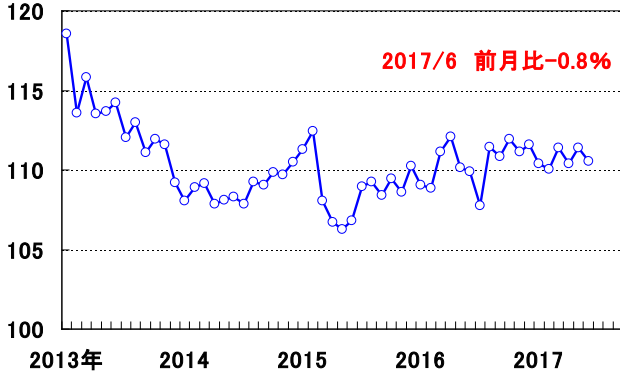
【今月のトピック:砂糖を多く含む飲料の消費を抑制する税制が導入】 9月から、タイ国民の生活習慣病の原因の一つとなっている糖分を大量に含む飲料の消費を抑制するため、新たな税制が導入される。砂糖を含まない飲料は減税が実施される一方、砂糖を含む飲料は従来の物品税に代わり、飲料に含まれる糖分に応じた砂糖税が課税される。今後、6年間をかけて砂糖税の課税は段階的に強化される予定である。糖分18%の飲料の税率は、6年後には現行(20%)の2倍以上に引き上げられる計画である。今後、飲料メーカーによる砂糖の含有量を抑えた新製品の開発が活発になるとみられる。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

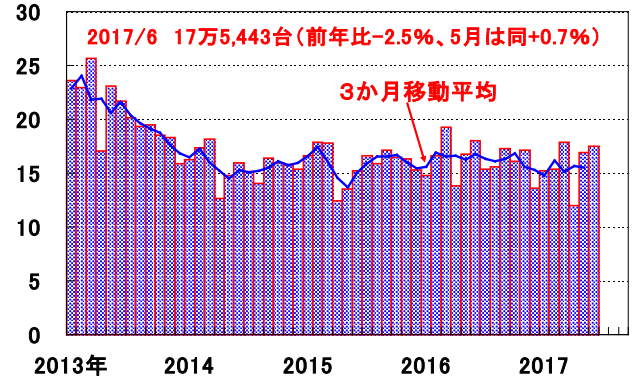
季調済
2000年=100

工業生産指数

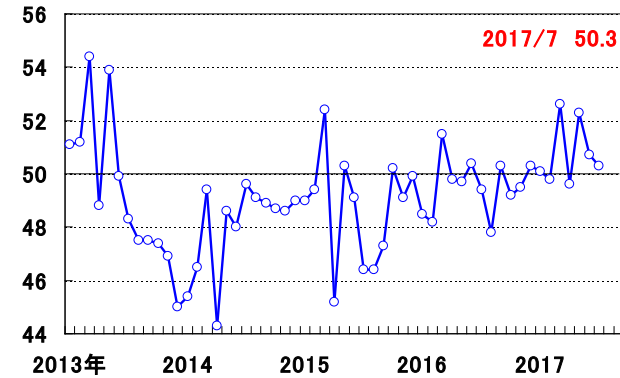


万台

自動車生産台数

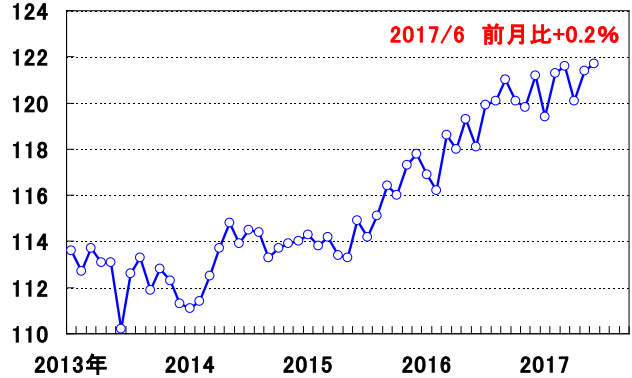


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



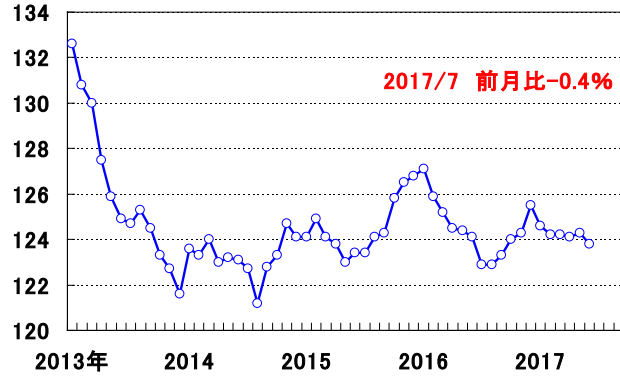
季調済
2000年=100

個人消費指数

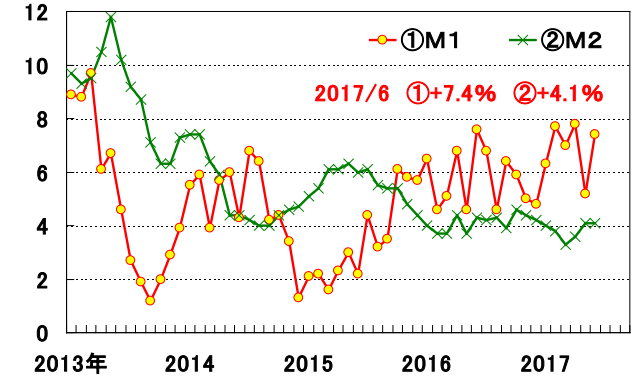


季調済
2010年=100

民間投資指数

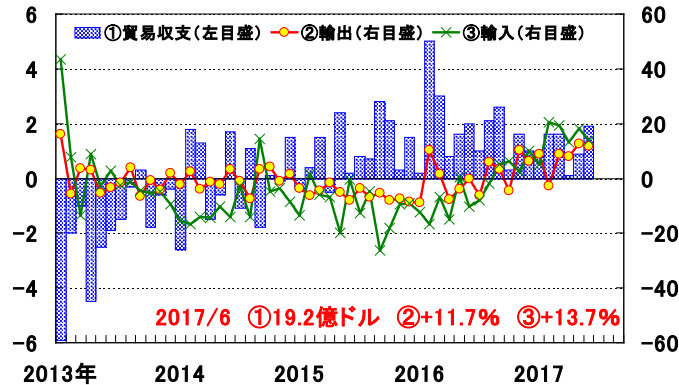


前年比、% マネーサプライ

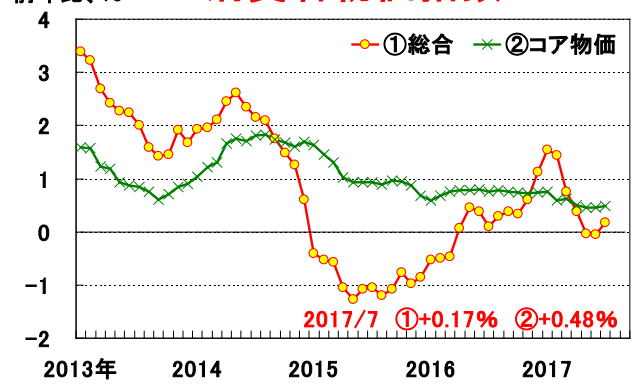


10億ドル

貿易収支



前年比、% 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。